

幼児の教育

第四十九卷

第六號



六月號

日本幼稚園協會

新 學 期 用 品

自由画帳 定價 二〇圓

おさいく帳 定價 二三圓

ぬり 定價 三〇圓

ぬりえ(初級) 定價 二五圓

ぬりえ(上級) 定價 二五圓

えとぬりえ 定價 四〇圓

御道具箱 定價 五〇圓

折紙 (文部省配給品)

寸色枚 5710 定價 二〇圓

寸色枚組 4各100 定價 二〇圓

折紙 寸色枚組 5各100 定價 三〇圓

送料 50組まで 35圓

床上積木

大	基尺 8 cm,	容積 32 cm ³	定價 1800 圓	〒350 圓
中	基尺 6 cm,	容積 25 cm ³	定價 1500 圓	〒250 圓
小	基尺 3 cm,	容積 12 cm ³	定價 450 圓	〒35 圓

一箱の積木數約 90 箇，形は，基本的の形を網羅して居ります。

砂場用具

砂 型 (4 種入り 100 圓, 〒35 圓)

シャベル (20 圓 〒30ヶまで 35 圓)

バケツ (60 圓 〒8ヶまで 35 圓)

ふるい (60 圓 〒15ヶまで 35 圓)

トンネル (70 圓 〒3ヶ 35 圓) 汽 車 (80 圓 〒10ヶまで 35 圓)

自動車 (50 圓 〒10ヶ 35 圓) 客 車 (80 圓 〒8ヶまで 35 圓)

紙芝居

定價 250 圓，袋入り，〒35 圓

第1集 みみちやんとおおかみ

第2集 どの子がいい子

第3集 お母さんはどこえ

第4集 親指姫

運動遊具

(圖・解説入りカタログ進呈)

ジャングルジム，滑り臺，ブランコ，置きブランコ，波動回転塔，共同ジャングル，大こ梯子，メリーゴーラウンド，廻てん椅子，等です。

發行所 千代田區神田 フレーベル館保育用品株式会社 振替口座 東京 38171
 神保町 2 の 4

目 次

保育精神の團結	倉橋惣三	(6)
幼児教育と特殊教育	津守	(9)
アメリカ童話から(一)	松原至	(14)
幼稚園獨詠	寺西聰	(16)
幼児をつれて見學(エクスカーション)	宮木杏子	(17)
保育關係文獻解説(五)	竹田俊雄	(21)
幼稚園教育の立廻れを教へ		(25)
第四次全國保育大會の開催要綱・提出協議題		(26)
子供讚歌(九)	倉橋惣三	(28)
(講話) 幼児の健康保育(一)	平井信義	(36)
記 録		(41)
第二回東海保育大會		
保育施設給食講習會開かる		
官廳公示連絡事項		(42)
モデル保育所設定標準案成る(厚生省)		
會 か ら		(44)
保育講習會(豫告)		(2)
幼稚園教諭免許法認定講習會(豫告)		(4)

日本幼稚園協會主催

保育講習會

第一期

幼兒の歌あそびの實際指導

お茶の水女子
大學助教授

戸倉ハル氏

先生最近の御研究の、季節單元に配した、歌あそびの實際指導をして下さいます。御期待下さい。

期日

七月二十一日から同二十五日まで五日間

—— 毎日午後一時から四時まで ——

會場

お茶の水女子大學體育館

會費

參百圓 (當日お持ち下さい)

- 宿泊御希望の方は郵券貼付の封筒同封の上お申込み下さい。
- 運動服、上靴御用意のこと。

第二期

幼児の器樂指導の實際

東京都世田ヶ谷
尾山臺小學校教諭

酒田富治氏

幼児の器樂指導に多年の御研究と、御經驗を持たれる酒田先生が、蘊蓄を傾けて御指導下さいます。なお幼稚園の歌曲に編曲せられましたもの十數曲の實演練習をも行う豫定

期 日 八月二十七、二十八、二十九の三日間

—— 毎日午後一時から四時まで ——

會 場 お茶の水女子大學附屬幼稚園遊戯室

會 費 貳百圓（當日お持ち下さい）

申込

はがきで七月十五日までに、姓名、住所、勤務先の名稱と所在地及び受講名を明記して東京都文京區大塚町、お茶の水女子大學附屬幼稚園内日本幼稚園協會講習會係宛お申込み下さい。

（注意）

- 本講習會は、幼稚園教諭の實力養成を目的としたもので、單位の修得にはなりません。
- 第二期は宿泊の便がありません。

昭和二十五年六月

日本幼稚園協會

東京都文京區大塚町
お茶の水女子大學附屬幼稚園内

お茶の水女子大學主催 免許法認定講習

目的 幼稚園教諭の單位修得を目的とします

期間 七月二十一日から九月二十八日まで

會場 お茶の水女子大學附屬幼稚園遊戯室

會員 貳百名

科目及び講師

教職科目 教育原理 一單位

お茶の水女子大學助教
お茶の水女子大學講師

吉田 昇
周郷 博

七月二十一日より同二十五日まで
八月二十日試験

毎日午前九時—十二時

教科専門科目 音楽理論 一單位

お茶の水女子大學講師

園田 誠一

八月二十日より同二十四日まで
八月二十六日試験

毎日午前九時—十二時

教職科目 児童心理學 一單位

お茶の水女子大學教授

牛島 義友

八月二十五日より同二十九日まで — 毎日午前九時—十二時 —
九月二日試験

教科専門科目 學校保健管理 一單位 お茶の水女子
大學助教 平井信義

九月二日より九月二十八日まで — 毎週木・土・午後二時—五時 —

教科専門科目 美學美術史 一單位 お茶の水女子
大學講師 菅原教造

九月五日より九月二十六日まで — 毎週火・木・午後二時—五時 —

申込 七月十五日までに、姓名、住所、勤務先の名稱と所在地、及び受講科目を明記して、東

京都文京區大塚町、お茶の水女子大學附屬幼稚園内、認定講習會係宛お申し込み下さい。

(注意)

- 一科目毎に、實費として貳百圓申し受けます。お申込みと同時に爲替にて御送金下さい。
- 定員をこえた場合はお断りすることがあります。
- 本講習の事務一切はお茶の水女子大學附屬幼稚園内講習會係が致します。ご不審の點は郵券をそえてお問合せ下さい。

昭和二十五年六月

お茶の水女子大學

東京都文京區大塚町



保育精神の團結

——第四次全國連合保育大會を迎えて——

倉 橋 惣 三

保育の全國的總連合が結成せられてから、既に三回の總會と大會とを重ね、近く七月の下旬を以て、その第四回の總會と大會とが盛大に開催されようとしている。開催地も、東京奈良、新潟から、今年の福岡と、地域の普遍を見、更に次々に全國各地に及ぶことになつてゐる。しかもその出席會員は回を重ねると共に擴張せられ、眞に全國連合の實が擧げられてゐる。まことに欣ぶべく賀すべきことである。しかも、全國連合保育會の連合の貴い實質は、幼稚園と保育所とが互に手を取りあい、その設立の官公私立の區別なき一聯の和合をなしている點にある。園長も所長も教諭も保母も、更に保育の研究學者も、賛同協力者も苟も幼児の保育に責務と關心とを有するものが、一人をも缺くことのできない實員として、これに参加しているのである。盛なりとすべく、大なりとい

うべきである。かくの如き全國連合は、疾くにあるべきであり、以前も時に企畫が試みられたこともあつたのであるが機が熟しなかつたというか、その結成の實現を見得なかつた。それが機熟し實を擧げたのである。將來如何なることがあつても、これが破られてはならぬ。分裂などいうことは素より、連結に聊かの稀薄を來してもならぬ。益々強固に、益々眞實に、充實成長されてゆかなければならぬ。今やその體制にあり趨勢にあり、この希望と確信とを以つて進んでゐるのである。元來が、強いて結びついたものでもなくわい／＼と集つたものでもない。抑も一つである保育精神において一つに大同しているのである。その大同の至當と必須とは、恒常に全面であり不斷に永遠である。

幼稚園と保育所とは、學校教育法と兒童福祉法との別個の法律の下にあるものとして、その使命にも實際にも、おのづから別の存在の理由が法的に認められてゐるものである。その兩立の理由が正當か必要かという論究と意見とは自由であるが、今日の現實としては相共に我國の幼兒の保育を擔いつてゐるのである。そして、幼稚園は學校教育法の要求してゐる目的の完成に意を注ぎ、保育所は兒童福祉法に基く使命の實現に努力してゐるのである。そこに經營の實際におのづから異なるところも生ずるのである。企畫の焦點が必ずしも同一でないこともあるであらう。更に基くところの立法の運營に周到と懇切の缺ける場合もないとはしないであらう。その爲に兩立が對立の姿勢になることもあつたりすると聞く。遺憾のことゝいうよりも短見淺慮の至りである。各々己の立場に熱心なるがためでありとするも、互に共通するところの保育精神そのものにおいては、全然同一であるのではないか。その同一なるところに一致の巾廣い重なりあいがあり、連合の固い結びつきがあるのではないか。個々特有の問題もある。分れて議すべき研究もある。しかし、保育精神の同志としては、一堂に會し、共に憂え、互に欣びたい共同の理解と親近の感情とに、胸を開き手を執りあわずにいられないではないか。

設立の公私の別は、經營の實際において、いふまでもなく同じでない。殊に私立學校法の制定によつて、「私立學校の

特性」と「その自主性」が高調せられ、私立の尊嚴が公立に對して、嚴守確立せられてゐるのである。それだけに、その經營者の識見が自由に發揮せられ得ると共に、その責任の負擔は重くならざるを得ない點もある。公立が公共の豫算の下に、經費の依存と他主的規定で經營せられてゆくのと、一歩々々の歩調に揃ひ難いことも屢々あるであらう。互に理解を妨げる點もたまには起るかも知れない。殊に、從來の非民主的な公主私從的舊觀念と惰性と、私立學校法による私立公共性の新觀念の勃興との間に、調和のずれもあつて對立的氣合の動く場合も或は起るのである。しかし、そんな經營面や社會面の實際を超えて、保育精神の眞實においては、公立私立に何んの相違もない。若し少しの差でもあつたら許し難いことで、そんなことは決してあり得ない。すなわち保育の本質では公私という名前の上の區別なんか氣にならない程、同一の理想を語り、同一の研究を進めあえるのである。その點では連合というよりも同一である。

全國連合保育會は、保育事業の進展改善のために、あらゆる貢獻を努力してゐるのであり、また當然その事項をも怠つてはならぬのである。衆智により組織により團結により一人一施設の力が出來ないことが可能にもなるのである。しかしそうした研究や運動の方法としてのみの手段的連合に止まるものではあるまい。そうした上の成果も切に希うところであるが、成果の追求だけだと、各自それ／＼の部面部門に忽に

して、全體の連合そのことの關心と愉悅とを忘れることがないとも限らない。連合の中にも小異小別は免れないからである。しかも保育連合が無からざるを得ないのは、それよりもつと深いところにあるのである。それは保育精神の眞髓を機縁とし中心としての集りなのである。そこにこそ連合の眞の必然があり、純な幸福が満喫せられるのである。保育上種々の具體的な實際的な重要な成果も亦、その一心一體の欣求と熱心とからこそ生れるのであろう。

全國の連合も、その形態において活動において、年と共に成長を遂げなければならぬ。しかし、常に省みて見失れてならぬことは、保育精神の集結體だということである。

保育精神の連合による大會は、少くとも三つの主要な効果を擧げるであらう。その一は保育精神の昂揚であり、それは先づ會場において更に社會に對し、集團の力が強い働きをする。同じ精神は、共鳴と鼓舞とによつて各自の精神に相互に影響し、そこに盛り上り來るものは、内に新に燃え立ち、外に廣く擴がつて、一人や小會合の成し得ざるめざましい効果を擧げる。その二は、保育精神の實現方法の討究であり、教えあい學びあい、批判しあい訂正しあつて、互が得るところ極めて多いであらう。殊に、苦心の體驗は、單なる机上の研究にまして、一つとして貴からざるはなく、疑問は解かれ、獨斷は破られ、深き自得を與えずに居ない。しかも第三は、保育精神そのもの、自省でなければなるまい。保育も一つの事

業である。事業は精神によつて出發し、精神によつて進展するものであるが、時に必ずしも此の純粹な原理を辿ることなく、事業が先きになつて精神が必ずしも伴わず、事業に追われて精神が置き忘られるというようのも、我れ人ともに遺憾な事實たるを免れ難いことがある。敢て、保育精神の缺如といわれない。保育精神の喪失といわれないが、その不純と稀薄とは、事業の名と形の陰に存しないとも限らないのである。保育精神の同業は互に助けあわなくてはならぬ、互に宥しあわなくてはならぬ。しかし、保育精神の嚴たる確立のためには、自ら鋭く批判し正しく戒めなければならぬこともある。但し、そういうことを、外部からせられることは心外である。前に敢て自省といつたのはそのためである。

大會がもたらすものは、保育界の進展でなければならぬ。保育界の進展は保育精神の向上によつてのみ行われる。保育精神の向上は個人的にも社會的にも、自他の常時不斷の心掛けであるが、同志集つて専ら保育を議する全國大會は、その大なる機會でなければならぬ。かくして、大會のたびに、我國の保育界は著しい成長を遂げてゆくことこそ、全保育者の期待であり希望である。

但し、大會は其の効果のためのみでもない。そこには、同志相集るあいあいたる和合の樂しみがある。しかも、大會は大會で終るものではない。大會の實は全國連合保育會の恒常永遠の強固と發展を増し加える活素でなければならぬ。九州の今年の大會の大いなる成功を祈る。



幼児教育と特殊教育

愛育研究所員

津 守

眞

「雨が、雨が、降っている、きいてごらんよ、音がする、びちびち、ばちやばちや、音がする、そら、お池に降っている金魚はどうしているかしら」眞中においた金だらいのまわりに、皆とんでくる。「お、お、金魚がいるよ、ほら金魚だよ」指さして先生の顔を見るKちゃん。「金魚——」先生の手を引張つて、金魚を見せようとするM、「おと、ね、おと、ね」手足をばた／＼させてのぞきこむH、皆體中を動かして大騒ぎ、大喜びする。金だらいの金魚は實は先生が即席に作つた紙の金魚だが、誰も紙製だなどと疑わない。大まじめで大喜びである。此の金魚も一時間後には、網にのせられ、七輪にかけて食べられてしまつた。五月の或る雨降りの一日當研究所の發達遲退兒特別保育室の中である。窓の外は五月雨がしと／＼降っているが、保育室では楽しいお遊びが始まつている。

精神薄弱兒の施設というと、私共は何か暗い感じのする、一種獨特な雰圍氣を思い起す。子供は全く動きが少なく、ぼんやり突立つたり、腰をかけたたりしている。親は始末に困つて施設に放り出す。社會は或る種の輕蔑感をもつて憐憫の眼を向ける。そこには自ら一般社會とはかけ離れた一つの社會が出来上り、奇妙に沈滞した空氣が醸し出される。社會の人が精神薄弱兒と云い、或いは白痴、痴愚と云つて特別扱いにして、特別な性格を作り上げてしまふのである。精神薄弱兒と云つても、木や石とは違ふ。やはり同じ人間である。笑いもすれば、泣きもする。どこまでも特別扱いにして違ふ人種の様に見物していて良いものだらうか。

普通の幼稚園の子供に我々は始終接していて、一緒に楽しく遊ぶことが出来る。ナースリースタールの年齢の子供ともやはり楽しく遊ぶことが出来る。赤ちゃんでも抱いたりあやしたりして、大人は夢中になつて一緒に楽しむ。精神薄弱兒とでもそれなりに、やはり我々は一緒に楽しく遊ぶことが出

來る。たゞ同じ年齢の普通の子供と比較すると、一寸變だぞと思う。變だと思ひ始めるときりがなく、精神薄弱兒は何から何まで出來なくて、悉くが普通の子供と違つてゐるような錯覺を起してしまふ。餘りにも倅にはまつて考へるからである。先入觀なしに、こういう子供の中に入つていつたら、普通の子供と遊ぶことの出来る人なら誰でも、十分に遊び楽しむことが出来るだらう。

保育室のお遊びはまだ續いてゐる。やがておやつを食べてみんなお迎えにつれられて歸つてゆく。遊戯をして踊つて、おやつを食べてゐる此の子供達を見て、誰が不幸だと思つてゐるか。誰が悲惨だと思つてゐるか。私共は少しも慘めだとは思わない。子供達と一緒にゐる時はそんなことを考へてゐる餘地はない。此の子供達にも、適當な環境を作つてやれば幸福になることが出来るのである。彼らの顔は輝やいてゐる。

二

私共の研究所には毎年相當數の精神薄弱兒が相談につれて來られる。馬鹿につける藥はないと云われて、醫學的にも治療法なしと見放され、教育をしてくれる場所もない。大きくなるのを待つて收容所に送るか、就學を免除して家庭でおぼろ／＼させておくか、或いは就學の時期を後らして普通學級に入れ、それでも追いつけないで劣等兒というレッテルを貼られるか、道は狭い。精神薄弱兒と鑑定はついても、その対策

に困惑する。兒童相談において最も困る問題の一つである。

昨年の五月、やはり就學前のこういう子供の父兄で、極めて熱心な方が二、三あつた。自分の所の子供が發育がずつと遅れてゐるのはよく分つてゐる。その程度も分つたし、醫學的に處置のないことも分つた。しかしそれだからと云つて放つておけるだらうか。來年は此の子供達は學校に上る年齢になる。到底普通の學校に行けないことは分りきつてゐる。治療の對策がないからと云つて、家庭に放つておいて良いものだらうか。是非こういう子供の小さい年齢の人達のための教育機關が出來てほしい。これが兩親の側の主張だつた。

教育によつて一體どれだけのことが出来るかは分らない。しかし家庭でも普通の子供と違つて、どの程度にどういふ風に扱つたらよいものか分らない。遅れてゐる子供だから可哀そうだと云つて過度に手をかけたり、或いはどうせ馬鹿だから仕様がなと云つて全く放任になつたりして、當然出来ることも出来ないで濟んでしまうことがある。又適當な遊びが相手がなく、社會的な刺戟に乏しくなり、外に出しても近所の子にいちめられる位が關の山だというので外にも出さないことにもなる。客が來れば外間も悪いので、一間にとちこめて出さない様にする、押入れに押しこんでしまふという極端な場合も起つてくる。こんな風に扱かれていたら、普通の子供でも健全な社會性の發達は望めないだらう。どうしても此の子供達にも明るい公明正大な環境と、十分に個人の能力を發揮し、社會性の發展する機會を與えてゆかなければなら

ない。教育ということによつて一體どのようなことが出来るか、それは疑問である。しかし上のような意味で、彼らの環境を調整し、作りかえてゆかなければならない、ということでは確かだろう。

三

近年、幼児教育ということが盛に云われて、小さい時から教育は大切だと誰でも考える。しかし小さい時からの教育とはどういうものか、ということになると誰でも分らなくなる。餘り教育に熱心なために、反つて子供を過度に神経質にしたり、云うことをきかない子供にしたり、或いは獨創力のない、大人のような子供にしたりすることもある。改ためて教育などと鹿爪らしく考えないで放つておいても、感心する位、良い子供もある。そうなると教育とは一體どういうものなのか、ますます分らなくなる。小學校位にもなれば、字を教えたり、算数を教えたり、教える材料が出来るからまだ教育らしくもなるだろうが、幼稚園やそれ以前では教えこむ材料が少ない。それに又教えこもうとしても子供の方でついて来ない。このことはそのまま特殊教育にも妥當する。教えこもうとしても、材料は極めて幼稚なものでなければならぬし、又子供の方でなかなか教わろうという氣にはならない。一月も二月もかゝつてやつと字が一つ書けるようになつたり一たす一が出来るようになつたり、それだけが教育ではなからぬ。分り切つたようなことである。しかしこれと似通つたこ

とをしようとして、それが教育だと考えることがどんなに多いことか。字を教えることに限らず、繪が書けるようになるか、或いは缺を使つて形が切れるようになる、新しい遊戯が出来るようになる、勿論これらは教育による一つの進歩であるかもしれない。だが何々が出来るようになる、というそのことが教育そのものではない。到達すべき目標として一應何かそういうものを定めるかもしれないが、それだけだつたら教育はこちこちのものになつてしまふだろう。特殊教育では殊にそうなる可能性が多い。あらゆる點で遅れているだけに、早く一つでも多く覚えさせようとして、結果を急ぐ。その結果はろくなことはない。何々が出来るようになることを、あせらうが、あせるまいが、子供の方は無頓着である。子供は子供なりに自分の世界を眺めながら、自分の面白いことを熱心にやつている。子供に相應らしい世界を思いきつて作つてやつて、大人もその子供の世界と一緒に入つて考えたらどうだろうか。たゞ外から見ていたのでは思いもかけない世界が開けてくるに違いない。到達しようと思つていた結果は、時がくれば自然に得られるだろう。普通の教育でもこの點はすべて同じだと思ふ。昔は教育というものは、上から與えるものだと思われていた。子供は何も知らないから、教えてやり、教育してやらなければならぬのだ、と。その次には子供は自分自身の興味をもち、自分の要求に従つて自然に教育されてゆくのだから、子供は放つておけばよいのだと考えられた。それで大人や先生は全く第三者的な立場に立つて、子

供を觀察してさえいればそれで十分なのだ。現代は更に進んで、大人は子供と一緒に生活し、一緒の空気を吸い。一緒に仕事をし一緒に考えることが必要だと思われて來ている。先生が子供の心の中に融けこんで、子供が何を考へているか何を感じているかを知り、一緒に生活して始めて、いろいろな材料やすぐれた教授法も實際に生きて來るのだろう。指導意識が強く働いたら教育はぶちこわれてしまう。子供同志と、大人同志と、そして子供と大人と、その間の共同生活を通し、その中に生きた脈膊が通い、それぞれが、それぞれの「人」を尊重し尊敬して、よりよい共同生活を作り上げようと努力する所のみ眞の教育は生れてくる。その共同體の中には、天才もいるし白痴もいる。天才だから輕蔑に價するわけでもなく、白痴だから尊重せよというわけでもない。知能の高い人は高いまゝに、低い人は低いまゝに、もつと一緒に生活をする仕方があるだろうと思ふのである。特殊教育は、「特殊」なものとして又神棚にまつり上げてしまつたら、特殊教育は一部にしか通用しない狭いものになつてしまふ。社會全體が、正常な人達が、特殊な子供を特殊なものとしなくて、一緒に生活出来るような態勢になつて始めて、特殊教育は、意義をもつことが出来るのであるし、教育というものは、こういう特殊な心をも包含出来るような應應なものではなければならぬと思ふ。

幼児教育も亦、此の様な教育の一つである。どんな小さな赤ん坊も、又發達の遅れた子供もそれぞれの世界を持つ「人」

である。その一人一人が我々の社會の一員であり、我々大人の社會は彼らの一人一人を受容する程大きくなくてはならぬ大人が大人の世界のみを固守していたのでは、子供の入つて來る餘地がなくなる。小さな子供の世界に大人が積極的に近づいていつて、一緒に生活出来るような周圍の世界を作つて行く。それが幼児教育である。そこでは子供は子供なりに正當に評價され、過度の重荷を加えられることもなく、第三者的に嫉けられることもない。

特殊兒童と呼ばれる發育遲退兒、乃至は精神薄弱兒にも幼児教育が必要だと云う所以もこゝにある。頭のよい子供達の幼児期の教育だけでなく、すべての子供に幼児期、乳兒期から關心と養護の眼が向けられて然るべきであらう。

四

幼稚園或いは小學校の入學式の時、普通の親達は自分の子供はこんなにお利口だぞ、將來は大實業家か、或いは大學者大政治家かと鼻高々でやつてくる。うちの子は、うちの子はで他の子供など眼中にない。學校に上れない程頭の悪い子供發達の遅れた子供の親は、こんな子でも學校にゆけるでしようか、どのお子さんを見ても、頭のよいお子さん許りのようですがせめて一番後からでも皆についてゆけるといふのですと、と恐る恐る來る。この子供達の親にとつては、子供を出世させようなどという考えは毛頭持てない。たゞ、人の一番後からでも何とかついて行つてくれたら、と望む。たとえつ

いて行けなくても良い、人に馬鹿にされないで、いぢめられないで、せめて楽しい幼稚園生活を、學校生活を送らしてやりたいと望む。將來を考えると全く絶望的にも感じ、先が眞暗な様な氣もしてくる。悲觀的に考えればきりが無い。普通の子供の場合に、樂觀的視すればきりがなく、世界的大學者大政治家を空想するのと同様である。悲觀して涙を流しているよりも、現在を最善に、眼前の此の子供に出来るだけよい環境を與えようと考える。たつた一つの字、或いはたつた一つの計算の問題ではない。もつと大きな、子供自身の問題である。將來を考えないわけではない。しかし現在を離れて將來を考へることは出来ず、現在を最もよく過して行くより他には方法もない。自分の子供についてこれだけ考へるのは容易ではないだろう。我々はかえつて親から多くのものを教えられるのである。

何れの場合にも、教育とは將來のものであると同時に現在のものであり、現在において、温かい愛情と、子供に對する正しい認識と、正當な判斷とを缺いていたら、よい將來は望めないだろう。

父兄の側の純粹な教育愛と、先生の側の教育に對する正しい認識の上に、始めてよい教育が生れる。大……とか世界的……を望む前に、父兄と先生が一緒になつて、よい共同生活の一員を作ろうとする所に教育の目標がある。此の點でも、特殊教育は一般教育と地盤を一つにするものであり、同じ地面の上に立つものである。此の意味からも、私は精神薄弱兒

乃至は發達遲退兒という語から、こういふ子供を侮蔑するよ
うな意味合いを除き去りたいと思う。子供同志が馬鹿と云つ
て彼らを輕蔑し、家庭も、時には先生までも一緒になつて、
その子供達、ひいてはその家族をも蔑視するような現状であ
るので。

五

あちらに三人、こちらに二人、と子供が草叢の中をのぞい
ている。蟻が何かを運んでゐるらしい。何やら譯の分らぬこと
を一生懸命に保母さんと話している。皆の眼は眞剣である。

子供と共に眞面目になつて話をし、共に笑い、共に涙を流
すことの出来る心は尊いと思う。その情景は最も純粹な教育
場面である。これを教育的センチメンタリズムと云うだろう
か。もしそう云う人があるなら、それでも構わない。そのセ
ンチメンタリズムは良いものである。だがそれは冷靜にして
深く物を考へる、眞實なセンチメンタリズムである。その中
で知性が働けば研究が生れる。知性ある子供主義は、子供
の研究の基盤であると思う。幼児期の教育、又特殊教育に關
しては、實際に當つて考へねばならぬこと、又調べねばなら
ぬことが山積している。日々子供と生活すると共に、日々新
たな問題を生み、解決すべき問題に迫られる。もつとよく知
らねばならない。もつとよく考へねばならない。
すべては、子供の氣持に觸れることの出来る心と、良識あ
る知性とが解決してくれるだろう。



ア
メ
リ
カ
童
話
か
ら
1

松 原 至 大

1 象のアルフレッドちゃん

晴れた六月の、ある日のことでした。小鳥たちが、楽しそうに歌っていました。小川の水が、よく澄んでいました。象のアルフレッドちゃんは、赤い水泳着を着ました。泳ぎに行こうとするのです。お魚も一びき、二ひきは、つかめるかもしれないと思いました。

けれども、アルフレッドちゃんのお母さんは、ちがつたプランをお持ちでした。

「わたしは、アダムちゃんを、お散歩に連れて行きますよ。」と、お母さんがおつしやいました。そしてよ、そ行きの帽子をおかぶりになると、こうおいつけになりました。「あなたはお家について、食器をあらつて下さいよ。」

やがてお母さんは、お鼻にパウダをおつけになると、赤ちゃんのアダムちゃんを乳母車うほぐるまにのせて、お顔についたチヨコレート・ミルクをきれいにふいてから、雨は降らないかと、お空を見上げて、それからおでかけになりました。

アルフレッドちゃんは、お家について、働くのがいやでした。ひたいに八の字をよせて、いいました。

「ああ、いやなこつた。」

アルフレッドちゃんは、あんまり八の字をよせたので、お顔がくたびれてしまいました。やつとのことで、食器あらいにとりかかりました。あらうのはいやでしたから、ひとまとめにして、それをみんな積み上げました。それからもう、しまうのです。大きなお皿と、カップと、臺皿をしまいました。お次ぎはお母さんが大切になさっているポールです。ところが、手がせつけんたらけだつたので、ボールがすべりました。床の上に落ちて、ものすごい音をたてて、こわれました。

「やあ。」アルフレッドちゃんは大きな聲をだしました。「お母さんが、なんとおつしやるだろう？」ところがその

次ぎに出た言葉は、「多分、ほく、なおせるよ。」でありました。

アルフレッドちゃん、深いお皿を出して、はちみつを入れました。その中に少しの糖みつと、ピーナツト・バターと、レモン・ジュースと、せきどめシロツブと、コーンスターチとを入れました。かきまわしていると間もなく、とてもべとべとしました。まぜ物ができました。

アルフレッドちゃんは、ボールのかげらを拾い集めて、そのまぜ物でつなぎ合せました。できあがると、太陽にあててほしました。たちまちそのボールは、新しいものようになりました。

そのうちに、アルフレッドちゃんのお母さんがお歸りになりました。

「あのねえ。」と、お母さんはため息をついておいでです。「あのねえ、下町は大へんでしたよ。今朝、王さまがねえ、お冠をお落しになつて、こわしてしまつたのですよ。ところが、だれもそれをなおして上げるものがいまぜん。王さまは、とてもお困りですよ。」

こうおつしやつて、お母さんはアダムちゃんを、高いすの中にお入れになると、アルフレッドちゃんにむかつて、「どうしてそんなに沈んでいなさるの？」とおたずねになりました。

「ほくしよげているんです。」アルフレッドちゃんは、泣きながら答えました。「ほく、食器をあらつてゐる時、お母さんの大切なボールをこわしてしまいました。」

「どうして。われてはいないようよ。」と、お母さんが大きな聲でおつしやいました。

「ほく、それをつけたんです。とてもべとべとしました。まぜ物を作つて。」アルフレッドちゃんが答えました。

「よかつたわ。よかつたわ。」お母さんはお鼻を高くしておつしやいました。「あなたは、とてもえらい象の子ですよ。」その時、またお母さんが、突然におつしやいました。「ああ、そうよ。わたしたち、お城へうかがつて、王さまにお眼にかかりましょう。あなた、多分お、冠をなおせてよ。」

そこで二人は、窓をしめて、アダムちゃんと、べとべとしました。まぜ物を持つて、ほこりの雲の中をでかけました。

お城では十分もかからない中に、王さまのお冠がなおりました。王さまは大へんなお喜びになつて、金のメダルをアルフレッドちゃん、胸につけて下さいました。ほかの象たちは、「えらい子供だな」といつて、ほめました。でも、アルフレッドちゃんはおとなしく笑つてばかりいました。(アン・パターソン女史の作による)

幼稚園獨詠

京都寺西幼稚園長 寺西聽學

園を開き既に十年となりにけり小さきながらも春は芽ぐみて

× × ×

百五十我を慕へる幼な兒に春の光はやはらかに照る

× × ×

桃櫻さきもさかれる園庭に群れて遊べる兒等はめぐしも

× × ×

世の塵に染まぬ心をなつかしみ日夜毎に我を鞭つ

× × ×

ある時は感きはまりて涙する如き尊き兒等の言葉よ

× × ×

朝禮の此の一時の朗らかさ我が言の葉を靜かにぞ聞く

× × ×

幼な兒に親しまれつゝみ佛の道を歩める我と知りませ

× + ×

初夏の朝はすがしも園庭にタンバアリンの音さはやかに

× × ×

み佛の教かしくみ幼な兒の友となり得ば老も知らなく

新刊紹介

長田新氏譯

『フレーベル自傳』(岩波文庫版)

フレーベル自傳は、幼兒教育研究者の必讀書の中でも主要のものとしなければならぬ。フレーベルを理解する上に、缺くことのできない資料である。長田氏の邦譯は豫て昭和十二年に岩波書店から出版されたが、今更更に改譯の手を加えられて、岩波文庫として新刊された。前の本を讀む機会を未だもたなかつた人々のためには、手に入り易い便宜の版として、是非購讀をおすすめする。内容に就て更めていゝまでもない。長田氏の譯筆極めて流麗暢達である。

(岩波書店刊行、定價六拾圓)

平井信義氏著

『たのしい育兒の科學』

お茶の水女子大學助教授、愛育研究所員、文學士、醫學士平井信義氏の近著『たのしい育兒の科學』は、著者の豊富な學殖と經驗に基いて、醫學的と心理的、理論的と實際的の各面を具備せる育兒書である。殊に、科學的育兒知識の正しさのみでなく、親としての育兒の樂しさを與えようとしてゐるところに、類書を抜く特色がある。書物はすべて著者の人柄によつて生きるが、わけでも育兒といつた問題においてそれが著しい。兒童の愛育の人として常に著者を欣慕してゐるものにとつては、人間の育兒の本としての此の書の優れてゐることが、心からうなづかれるのである。

(東京都千代田區錦町正旗社發行、二五〇圓、地方價二六〇圓)

學見つれて幼児

(エクスカーション)



幼稚園女子大の水茶会

子 杏 本 宮



幼稚園の庭に遊ぶ子供達の心も先生の心も、うら／＼と、何かじつとしていられない気持ちに誘われる。そんな日のつゞく或る日、私は近所の街のエクスカーションを計畫した。

連れて行きたい事は、組のあの子もこの子も、全部つれて行きたい。しかし、あの乗物の往來の激しい道路の事を考えると、どうしても、何回にも分けて行くより仕方がない。その日は組の女児を四人と男児を二人つれて行く事にした。おとなしい子供ばかりなら七人、或は八人位までつれて行けるけれども、少しおはねさん達となると、せい／＼五人位までである。隣の組の先生に、私の出かけたあと、隣の組の先生に、靴をはきかえる。出かける子供達は、何かふだんと違うので、嬉しがつてはしやいでかけまわる。そこで先生は、門を出る前に、六人の子供をよびよせる。

「門を出ると、自動車や電車が澤山通

つて危いのよ。氣をつけてね。」

と一言、まじめな顔つきでいうと、とび上つていた子供達も急に現實にかえつて神妙になる。ふざけやすいAちゃん、落つたM子ちゃん、比較的亂暴なT子ちゃんは、おとなしいU子ちゃん、二人ずつ手をつながせる。注意深いS子ちゃんとしつかりしたY子ちゃんを先頭にして、氣をつけて歩く事を注意する。

☆

門前の道は、歩道車道の區別がないので、門を出ると對面交通の爲、どうしても道路横断をしなければならぬ。一臺の都電をやりすごした後、無事六名をむかい側へわたすとほつとして思わす笑顔となる。緊張が一つとけて子供達もすぐ、おしやべりを始める。

「あら、お洋服屋さん。」
と、女の子が聲を上げる。

「澤山きれがあるのね。ね、先生、あの色、ほら私のお洋服と同じね。」

「あら、あのきれは、うちのおかあさまのお洋服と同じ色だわ。おかあさまは青い色がお好きなのよ。」

「私、花子さん(きせかえ人形)に、あそこにかゝつているようなお洋服をつくつてあげようかしら。」

てんでに勝手な事をしやべりながらみている。口が忙しくなると、つい注意がそれで、自轉車にぶつかつては大變と、先生は先になり後にまわり、それとなく注意をしながら歩く。ふらふらとすぐ手をはなして、とび出しそうなTちゃん、家の軒下の側とかわらせる。

☆

そのうちSちゃんが「あらあら」と立ちどまる。皆一せいにTちゃんとの視線を追うと、びかびか光つた靴がならんでいる靴屋さんのしきいの上にかわいい眞黒な小猫がちよこんと坐つてこちらを見上げてゐる。Sちゃんは、いきなりばたばたとかけ出して小

猫を抱き上げる。UちゃんもYちゃんもAちゃんも、とんでいつて、

「ね、次は私に抱かせてね。」

「その次は、僕の番ね。」

猫は皆の胸にかわるがわる抱かれていやがりもせず、のどをごろごろとならしている。鈴がちり／＼となつてかわいらしい。皆の喜ぶ聲が大きいので、店の中から、お客さまかしらと、あわててエプロンで手をふきふき出てきたおばさんが、思いがけないこの光景をみて、

「あら、まあ、おほほほほ」と笑つた。

お米の配給所などは、子供の興味をあまりひかないらしい。氣もつかずさつさと通りすぎようとする。先生が

「この店、何するお店」と何氣なく問うと、はじめて氣のついたような顔で、店の中を眺める。普通のうりやさんとは、ちよつと様子がかわつてゐる。大きなかりが、どさり

とおいてある。大きな袋が天井にとどくほどつんである。その他には机が一つ。机の前におじさんが一人、ぶあいそうなかおでペンを走らせてゐる。

「あ、知つてる。お米の配給所。ね、先生。」

「そうだ、そうだ。僕いつか、おかあさまとおうちの近くの配給所へ行つたことある。」

メリケン粉の袋については、

「トラツクではこんできたんだね」

「どこから来るの、先生。」

という質問につゞいて、お百姓さんがこしらえて下さつた小麦が、みんなのお家へいくまでの経過などを話し合

う。

「それから、アメリカから来るおこなもありますね、先生」

などという子供も出てくる。

☆

本屋さんには、角帽をかぶつた大學のお兄さん達が立つて、むづかしい本

をみていらつしやる。みんなのみるよ
うなきれいな繪本もならんでゐる。そ
のおとなりは床屋さん。眞白い上つば
りのおじさんが、椅子にすわつた男の
人の髪を、はさみをしやき／＼ならし
てかつて上つてゐる。くる／＼とま
いた紅白黒のねじりあめのような看板に
子供達は氣がついたかどうか。

や、おやさんには、季節の野菜が、新
鮮な色で美しくならんでゐる。子供の
見わけられるものだけでも、ねぎ、に
んじん、だいこん、キヤベツ、ほうれ
んそう……と敷えてみると相當ある。
たべたことはあつても、その名前を知
らなくて尋ねる子、家庭菜園の話をし
出す子、野菜なんてきらいだという子
それから、にんじんの好きならさぎさ
んにまで子供の話はのびていく。先生
も會話に加わりながら、新鮮な野菜を
たべなければいけないこと、たべもの
にはすききらいをいわないことなどを
お説教に流れぬようそれとなく話して

きかせる。

あまり店の前に長く立止まつてゐる
のおおじやまと、きり上げて歩き出す
と、街角のたばこやさんから流れてく
るラジオの音楽の輕快なリズムに、子
供たちの足なみが、ひとりずつ合つて來
るのも氣持がいい。

☆

たばこやさんの角を曲ると、一番に
時計屋さんが目にはいる。大きな時計
小さな時計、桂時計、置時計、懐中時
計……

「ずいぶんいろんな時計があるのね。」
と、子供達も今更のように感歎の聲を
出す。もう時計の見方を知つていて、
「小さい針が上へいつたらおひるのお
べんとう。三時のおやつはこつちで、
十時はこゝ」

などと、得意になつてお友達に説明し
て上げる子供もいる。「かつちんかつ
ちん、時計屋の時計。」と、一人が小さ
な聲でうたい出すとみんながあとから

うたい出す。時計屋のおじさんは澤山
の時計の中にうすまつて、片方の目に
小さな目がねをはめて、わきめもふら
ず、小さなビンセットで時計の機械を
いじつてゐる。

時計屋さんのむかい側は郵便局。是
非行つてはみたいけれど、又乗物の行
き來の激しい道を往復とも横斷する事
を考えると心配でもあるし、先日の郵
便局ごつこの時にも見學したばかりな
ので、その時の事など思い出しながら
話し合ひだけにとどめる。

話しをしてゐるうちに、氣の早いA
ちゃん、もう時計屋さんの隣りのお
もちややさんのをぞきこんでゐる。ジ
ーブ、きかんしや、こま、シヤベル、
かばん、なわとび、お人形……。思わ
ずM子ちゃん、美しいビーズ玉の箱に
さわりかけて、

「さわつちやいけないのよ」

とお友達に注意される。

「わあ、ピストルだよ。すごいなあ」

男の子は興味はどかくこういうものにひかれやすい。ピストルが悪いのではないが、ピストルやがてはギャンゴつこに發展しないものでもない。そこで先生が、

「あら、切符切りがあるのね」というと、U子ちゃんが、
「バスのしやしうさんがもつているのね、あんなの」という。

「幼稚園に一つ買つていませうか」

先生が提案すると、皆目をくるくとして輝かせる。もう、バスごつこを始めるつもりで

「僕が車掌だよ」

「僕もなりたくない」

という事から、切符もこしらえなくちゃ。かばんもいるよ。と子供の計かくは先から先へとのびてゆく。計かくすると、せつかちなのが子供の常であるさつさと、今来た時計屋さんの方へとひき上げる。

☆

十字路を幼稚園の側に横断する前に町角で、ちよつと立ち止る。消防の火の見やぐらがみえるからである。指でさし示すと、すぐ

「あ、あれ消防ね」

「消防のおじさんがのつかつているのね」

「僕も上りたいな」

などと口々にいう。消防のおじさん達は、晝間ばかりでなく、夜もみはつていて、火事かあるとすぐとんで来て消して下さる事などを話しあう。

「赤い消防自動車、ウーウーウー」

と口まねしてりきんでいる子もある。

この十字路から一方の道はG寺にむかつて下り坂になつてゐる。はるかにG寺の森をのぞみながら、子供と話し合う。G寺へ行つて鳩と遊んだことのある子供もあつた。霞のかゝつていない日には、G寺の森のはるかな空に、富士の姿がみえる事もある。

十字路の中央に立つたおまわりさんは、ビーと大きく笛をならして、派手に両手をひろげる。今度は、横断道路を落つてわたる。みんながわたりおわるまで、おまわりさんはこゝくつていて下さる。みんなもこゝくおまわりさん、ありがとう。

☆

歸りはとかく気がゆるみやすい。危いから氣をつけてね、と聲をかけながら、歩く。大きな自動車、とりわけてわき道から出てくる自轉車などに注意する。

きれいなあめのならんだおかしやさん。赤や黄色のリボンの下つた小間物屋さんの前などで、子供の歩調はゆるくなる。

やつと幼稚園の門までたどりつくと緊張から解放されて、子供達は、ばたばたとかけ出す。幼稚園で待つてゐるお友達に話して上げたいことが、胸いっぱい、早くくと、とんで行く。



保育關係文献解説 (五)

愛育研究所員 竹田俊雄

一〇 遊びとレクリエーション

副島ハマ

「こどもの集團遊び(上・下)」

昭和二十四年 上 B6 一二〇頁
下 B6 一五六頁

片井商會 一五〇圓

この書は、こどもにとつては生活のすべてである遊びを、保育者がよく知つて、こどもと一しよに遊ぶことができるようにと、主として幼児に適切な集團遊びを多數集録して、それに一々くわしく説明を加えたものである。はじめにまずこどもの遊びと集團遊びの價值について述べ、以下、智能遊び・感覺遊び(以上上巻)・手の遊び・筋肉運動を主とする遊び・鬼ごっこ(以下下巻)の五部に大別し、さらにそれぞれを分類し、細別して、たとえば傳言遊び・椅子とり・花一匁・動物の眞似・目かくし鬼等々、四百種近くの遊びを一つ一つ、それをするに適當な年齢、その遊び方を具體的に説明している。この分類は便宜的であるが、著者多年の經驗が

物をいつていて、殊に幼児を扱う人々がその遊びを指導するために必讀の教養向の本である。

副島ハマ編

「こどもの楽しい歌遊び」

昭和二十五年 A5 四三頁

白眉社 一〇〇頁

幼児のための集團遊びの樂譜を集めたもので、人まねごっこ・頭字遊び・でんでん虫・ハンカチ落とし・ロンドン橋等、二十種の集團遊びにつき、曲譜・歌詞・遊び方が挿畫とともに掲げられている。こどもに歌を伴う集團遊びを指導するには大いに役に立つ書である。教養向。

東京都保育研究會遊戯部會編

「たのしいあそび」

昭和二十四年 B5 七四頁

フレーベル館 一六〇圓

幼児と歌い、遊びつつ、それを導いて行くことを願つて、東京都の保育園の人々が集團遊びを集めたもの。生活あそび整理あそび・感覺あそび・數あそび・競争あそび・社交あそび・郷土あそびの六部門に分ち、お手々を洗いましょう・ひ

らいたひらいた・鼻々遊び・五羽のすずめ・はんかち落とし等八十種の遊び(内、郷土あそび十二種は名稱のみ)の遊び方を説明している。この大多數は歌曲によるものであるが、それらは樂譜を掲げ、歌詞を載せ、また遊びの型や姿勢を略圖で示している。眞に幼児のもつリズムになつた遊びが多く、おおむね自然で簡素なのが特色である。教養向。

高橋四郎・松田稔

「ゲームとその導き方」

日本基督教青年會同盟

昭和二十四年 B 6 一一五頁

六〇圓

この書は一般の人々のレクリエーションのためのゲームを解説したもので、一般論として、ゲームの指導・諸集會のプログラムについてまず述べ、次に室内ゲーム(輪になつてするゲーム、組に分れてするゲーム、代表が出て勝負をするゲームその他に分けてある)と戶外ゲーム(ボールを利用するもの、鬼ごっこ、リレーその他)とを約百種掲げて、一々その遊び方を説明している。大人や青年が主であるが、こどもに興味のあるものもある。

額田 年

「ワンハンドレッドゲームズ」

日本社會事業協會

昭和二十四年 B 6 一五二頁

七〇圓

この書も青少年を主な對象として書かれたゲームの本である。ゲームとその指導についてはじめに述べ、室内ゲームとして、テーブルゲーム(かみなり遊び等十五種)およびロビゲーム(脚相撲等四十七種)さらに戶外ゲーム(傳令等二

十二種)、ボールゲーム(球送り等十種)、水上ゲーム(潜水競争等十六種)を、一つ一つその方法を説明し、またゲームの前後に行う振付け童謡と輪唱(五種)を掲げ、附録として「水泳指導に就いて」、「キャンプに就いて」の二章がある。幼児にできるものも若干含まれているが、年長のこどものグループを指導するにはよい本である。

YWC A 編

「ゲームと指導」

日本基督教女子青年會

昭和二十二年 A 6 一七七頁

五〇圓

この書も一般の人々のレクリエーションのためのゲームを集めたものであり、第一部指導、第二部ゲームに分けられてい、第一部においては、ゲームの要素、ゲームのリーダー、レクリエーションパーティー、指導上の注意、ゲームに變化をつける方法、集いの實例色々が説明され、第二部において、動きの多いゲーム、静かなゲームとしておよそ一九〇種のゲームが解説されている。これらの中にも幼児にも興味のものも相當含まれている。

内山憲尙

「幼児とレクリエーションゲーム集」

中央評論社

低學年

昭和二十四年 B 一六二頁

一五〇頁

幼児や年少の學童を主としたゲームおよそ一〇〇種を集録して、對抗的遊び(尻取り等)、衆多的遊び(とんだとんだ等)、競争的遊び(福笑い等)、智能遊戲(封じ言葉等)、科學遊

び（生活測定等）、傳承遊戯（向うの小母さん等）、捕獲ゲーム（盲目鬼等）、競争ゲーム（色分け競争等）、争鬪ゲーム（尻尾抜き等）、模擬ゲーム（郵便競争等）に分類し、一々の遊びについてその方法や注意を述べている。

垣内芳子編

「こどもとレクリエーション」

社會教育連合會

昭和二十四年 B 6 一六六頁

四〇圓

これはゲームを中心とするこどものレクリエーションの手引き書であつて、吉見靜江氏の「レクリエーションとグループワーク」山高しげり氏の「お母さんとレクリエーション」戸川行男氏の「こどもの遊び」の三つの文をはじめに置いて垣内芳子氏が「レクリエーションの實際」について述べている、垣内氏のもは「ある日のパーティー」の章が中心となつて、そこに具體的な場面を示して、レクリエーションというものが、どのような形で行われるべきものであるかを説いている。幼児から學童にわたるレクリエーションの問題をきわめて實際的に述べながら、この種の本にありがちな單なる遊びの羅列にとどまらず、基礎的な考え方を教えている。保育者としても讀むべき教養向の書である。

一 一 兒童文化

松葉重庸

「兒童文化概論」

昭和二十五年 A 5 三二四頁

三五〇圓

巖松堂

この書は兒童文化とはどんなものであるか、またどんなものでなければならぬか、さらにどのようにしたらよいかを兒童文化一般にわたつて説いたもので、概説、兒童生活、兒童讀物、新聞・壁新聞、映畫・幻燈、口演童話、紙芝居、兒童劇、人形芝居、子供會の十章から成り、附録に兒童文化資料として、兒童文化關係の法令、團體、文獻を掲げている。著者は長年にわたつて日夜兒童文化運動に打込んでいられただけに、その得意とする演出技術と克明な調査とが、書中いたるところに光つている。また概説において兒童文化の體系を單に兒童に與える文化に止めず、兒童自身の活動や生活、それらを助長する社會的なものにもまで擴げている點は正しい。この書に扱つてゐる範圍はひろく兒童全般にわたつてゐるが、幼児を保育する者として讀むべき教養向圖書。

東京文理科大學内兒童研究會編

「兒童文化」

金子書房

昭和二十四年 A 5 二六八頁

二三〇圓

この書は「兒童心理叢書」の第六卷で次の六つの論説を含んでいる。

石森延男

兒童文學復興について

倉澤榮吉

童話論

滑川道夫

讀書指導

望月 衛

映畫教育

阪本一郎

ラジオと紙芝居

周 郷 博

兒童文化論

それぞれの標題の示すような内容を扱つて、特に幼児に限らず児童一般を對象として文化の問題を論じているが、保育者の參考となる點も多いであろう。専門向。

滑川道夫

「こどもの讀書指導」

昭和二十四年 B 6 三五六頁

國土社 二五〇圓

この書は幼児から學童までの讀書指導の問題を取扱つたもので、讀書ということ、讀書指導、讀書指導の實際の第三章より成り、第三章が幼児期の讀書指導と兒童期の讀書指導との二部に分れている。幼児期の讀書指導においては、遊びの中の指導、繪本を中心とした指導、これからの讀書指導の問題、繪本のことばの問題が扱われてい、とかく無視されがちな幼児の讀書指導を強調している。専門向。

百田宗治

「子供の世界」

昭和二十三年 B 6 一三三頁

小峰書店 八〇圓

「新生兒童文化に送ることば」というサブタイトルをもつてい、「子供の世界と大人の世界」、「日本の子供の詩」の二部から成り立つている。第二部は一年から六年までの學童の詩一一七篇を集録したものであるが、第一部は著者の兒童觀や兒童文化運動、兒童文學についての見解を示した論文二十六編が要約的に集載されたものであつて、兒童文化ということを理解する一つのよい資料となる。専門向。

發行所 所在地

片井商會	神岡市末廣町九六
白眉社	東京都目黒區下目黒二ノ四六八
フレール館	東京都千代田區神田神保町二ノ四
日本基督教同盟	東京都千代田區西神田一ノ二
青年會	東京都澁谷區原宿三ノ二六六
日本社會事業協會	東京都千代田區神田駿河臺一ノ八
日本基督教會	東京都港區芝浦二ノ一 三友ビル内
女子青年會	東京都千代田區神田一ツ橋教育會館内
中央評論社	東京都千代田區神田神保町二ノ二
社會教育連合會	東京都千代田區神田神保町二ノ二
巖松堂	東京都文京區大塚坂下町一五五
金子書房	東京都文京區高田豊川町三七
國土書社	東京都新宿區四谷舟町六ノ六
小峰書店	

☆

☆

☆

幼稚園教育の

立ち遅れを救へ

—幼稚園はわいてけぼり—

幼稚園の幼稚園教育は新制高校同様義務教育に準じて扱われることになつてゐるが、六・三制に教育の重點がおかれすぎた結果、幼児教育の危機がやつてきてゐる各地の保育連合會、教員組合、母の會など一せいに「幼児教育の立ち遅れを救え」という聲をあげ、文部省でもこの動きに應じて東京のお茶の水女子大と奈良女子大に幼稚園教員の臨時養成所を設ける一方、近く幼稚園關係者を集めて幼児教育の振興策を協議する。

文部省の調査によると現在幼稚園の數は國立が三十二、公立が七百七十八、私立が九百七十六で合計千七百八十六校、小學校の總數二萬九百五十三校にくらべると十二

分の一である、園児數は二十二萬七千人で入園適令児の六・二%が幼児教育を受けてゐるに過ぎない、地域的な普及状態はバラ／＼で、徳島縣のように百九校もあり小學校(百十校)とほとんど同數の幼稚園をもつてゐるところがある反面、高知の三、山形の七、富山の八、鳥取の九と全縣で十校にみたないところもある。

東京でもリ文教のセンターと、いわれる、文京區で一つの幼稚園しかないため志願者が五倍も殺到して、かわいそうな試験地獄を描き出した、という實例もある。

また幼稚園に對しては國家の補助が全然なく、教員の給料をはじめすべてが市町村

區費で賄われているため、幼稚園教員の待遇は他の教員にくらべてグンと悪く、地方によつて大きな差があるので志望者もすくなくなつてゐる。

二十五年度には六千三十三人の教員を必要とするのに現在教員の數は三千八百人しかなく差引四割近くの三千二百人が不足し、

施設や設備もひどいものが多い、父兄の負擔は公立では平均百圓から百五十圓、私立では三百圓の保育料のほか母の會費五十圓、設備費として百圓から三百圓をとられるので一ヶ月最底五百圓を負擔しなければならぬ現状だ。

學校教育法で學校教育の出発點としてみとめられた幼稚園の準備義務教育制はほとんど有名無實で、幼児教育がまたもや戦前と變らぬ一部金持階級の「ぜいたく教育」に陥ろうとしてゐる、幼児教育振興策として幼稚園關係者は、

- ①幼稚園設置の義務制
 - ②教員の待遇改善
 - ③教員養成
 - ④公立の増設
- などを要望してゐる。

(昭二五、五、二八朝日夕刊所載)

第四回全國保育大會の開催要綱

一、日時及び場所及び内容

(イ) 岩田屋デパートに於て七月二十五日——三十日の間保育に關する展覽會を開催。

(ロ) 七月二十六日と二十七日の二日間九州大學醫學部大講堂にて保育講習會を行い長田新博士、宮武辰夫氏、副島ハマ氏、高橋さやか氏等を講師として交渉中。

(ハ) 七月二十八日と二十九日同じく醫學部大講堂に於て大會の開會式、全國保育連合會の總會、分科會總會(大會としての)研究發表會、リクレーション大會等が行われ他に有志懇親園遊會、市内觀光等の多彩の行事が組み込まれている。

(ニ) 七月三十日と三十一日は地方見學で雲仙、阿蘇、別府の三コースに別れて素晴らしい企畫が皆様を待ちうけている。

二、大會參加費 一人貳百圓

三、保育講習會費 一人貳百圓

四、觀光旅費

- 1 雲 仙 約三、五〇〇圓
- 2 阿蘇山 約二、二〇〇圓
- 3 別府溫泉 約一、三〇〇圓

五、申込み締切り

大會參加並びに講習會及び觀光等の申込みは六月三十日を以て一應締切る。宿舍の割り宛その他整理の都合上申込み用紙(別途に準備局より各府縣保育連合會宛送付の筈)には年令と性別を明記せられたい。

六、尙宿舍の經費は三段階にわけて

(七百圓、五百圓、參百圓)各人の希望によつて手配する。これも申込みの折、何泊の豫定かをはつきり記入されたい。

七、常任理事會及理事會について

これは大會前日の二十七日午後一時より常任理事會を午後三時より理事會を何れも岩田屋デパートに於て開催の豫定につき理事及び常任理事は必ず御出席願ひたい。

第四回全國保育大會提出協議題

△大會議案

- (一) 全國保育大會を隔年に開催するの件。
- (二) 保育者のアメリカ派遣と内地留學實施の件。
- (三) 幼稚園敎諭と保育所保母との資格を共通とするの件。

△第一分科會(幼兒の文化全般)

- (一) 幼兒の諸經驗獲得過程について。
- (二) 幼兒のリズム敎育について適切な指導如何。
- (三) 室内の自由遊びの方法如何。
- (四) 保育要領の改訂指示に關する件。
- (五) 幼稚園保育所に於ける宗教敎育は如何にすべきか。
- (六) 母の會、P.T.A.の運営並びに指導方法如何。
- (七) 知能検査を實施する場合その種類、方法、効果について各縣の實狀及び意見。
- (八) 健康保育と給食實施の普及及徹底について。
- (九) 時勢の推移に鑑み保育上留意すべき點如何。
- (一〇) 新時代に即應した幼兒敎育の全般に亘る理論及實際についての研究集會開催の件。
- (一一) 保育要領の具體案作成について。
- (一二) 優秀な幼兒向視覺敎材作成普及に關する件。

る件。

- (一三) 幼兒の環境整備につき特に留意すべき點について。
- (一四) 問題の子供の適切な取り扱いについて。
- (一五) 保育効果の評価基準について。
- (一六) 幼兒に科學心を啓発する具體的方策について。
- (一七) 幼兒の健康敎育を如何にすべきかについて。
- (一八) 幼兒にすゝめるよい遊びの編纂方要望について。
- (一九) 幼稚園保育所と小學校低學年との具體的連繫について。
- (二〇) 保育日を制定せられたい。
- (二一) カリキュラム構成に對して園外生活指導を重視せられたい。
- (二二) 幼稚園給食の實際について承りたい。

△第二分科會(制度、組織、經營)

◇第一部會(幼稚園)

- (一) 各都道府縣敎育委員會に專任の幼稚園指導主事を必ず置きたい。
- (二) 地方に於ける兒童行政のセクト主義を排除し適當な連絡機關を結成したい。
- (三) 幼稚園の財政的基礎を確立するため國庫及び府縣よりの補助交付金について幼稚園敎諭養成機關を各府縣に設置するの件。

- (五) 敎育職員免許法による勤務年數の計算には保育所の勤務も幼稚園と同様にみなすこと。
- (六) 幼兒保健の實をあげるため園並びに地方の協力體制確立に關する件。
- (七) 保育施設(幼稚園、保育所)の適正配置に關する件。
- (八) 私立幼稚園の法人認可に際し經費輕減の件。

◇第二部會(保育所)

- (一) 兒童福祉審議委員の中に必ず公私立保育所保母の代表を加えられたい。
 - (二) 保育所に保健婦を配置するの件。
 - (三) 私立の兒童福祉施設に對して公的補助の道を開くことについて。
 - (四) 兒童福祉施設の最低基準の一部改訂並びに一部延期方要望に關する件。
 - (五) 現下幼兒保育の重要性に鑑み、兒童課並びに郡市駐在の專任指導主事又は指導主事又は指導保母の設置に關する件。
 - (六) 平衝交付金に保育所の經費を明らかにすること。
 - (七) 保育所保母の身分保障について。
 - (八) 私立保育の法人取扱いについて。
 - (九) 保育所關係の樂器保育用品免稅の件。
 - (一〇) 私立保育施設に保險組合結成促進の件。
 - (一一) 保育所への對象児を適確に措置せられたい。
- (大會準備事務局は、福岡縣福岡局内福岡市天神町、福岡縣鷹見児童課内、第四回全國保育大會準備會事務局)



子供讚歌 (九)

倉橋惣三

八 當時の『新保育』

1 お茶の水幼稚園の新主事

若い彼は當時の保育界の現状にあきたらなかつた。それは彼の研究の結果か、若さの勢か分らないが、兎に角、不滿の點が理論にも實際にも多かつた。但し彼自身の考え方として、教育に新がえられない譯ではない。千古永劫の眞こそ貴いのであるということを知つていた。それで、世間の新しがり屋のように、何も事々しく新保育の名で高慢な顔をしようなど、は思いもしなかつた。たゞ一途に眞保育を求めたのであつた。彼がフレイベリヤン・オルソドツクス派にたてつたのも、論理主義と傳統主義とに眞が覆われるのを怖れたからに他ならなかつた。

そういう心持のなかで、彼は東京女高師附屬幼稚園の主事に任ぜられた。(大正六年)。前主事安井哲子氏が、新設の東京女子大に轉ぜられた後任として、彼は講師から教授になり、兼ねて主事を命ぜられたのである。時の學校長は湯原元一氏であつた。識見の高く廣い人であつたが、幼稚園のことは一切を彼に任せて思ひのまゝにさせた。それだけに彼も亦、お茶の水幼稚園の園丁になりきつた。

新まいの園丁に大した花壇の設計なんか出來ようもないが、一應氣をかえるためにしたことは、創園以來の古いフレーベル二十恩物箱を柵から取り降して、第一、第二その他系列をまぜこぜにして竹籠の中へ入れたことであつた。すなわち、恩物を積木玩具としたのである。これは、特別の意義をもつものとして取扱われた恩物の格下げか、一般

玩具としての横すべりか、見ようによつては論義のありそうなことだが、彼はたゞ幼児の積木遊びを、幼児の積木遊びとして幼児達にさせたかつただけのことである。勿論、フレイベル原理の研究用としては、正統な恩物の幾組かを残しておいたが、その他は積木の籠として各保育室にわかち備えられたのである。こういうと如何にも破壊的革命でもしたように聞えるかも知れないが、その實は、以前から恩物が恩物として用いられてはいなかつたのであり、棚上げされていた譯合なのだから、實際には大した變り方ではなかつたのである。彼は後にカイルハウやブランケンブルヒにフレイベル幼稚園の舊跡を訪ねた時、そこにある謂わばフレイベル手澤の恩物といつていゝものを、古寶に接する敬意をもつて見たのであるが、また、フレイベル舊跡のところへで恩物三體の模型や圖表を、恰かもフレイベルの象徴として尊敬を以て見たのであるが、お茶の水の幼児達に、恩物を竹籠にあげて入れて遊ばせたことを悔いもせず、フレイベルに對して必ずしも濟まなかつたとも思わなかつた。

新園丁が同時にしたことは、從來遊嬉室の正面に掛けてあつたフレイベルの肖像畫をとつて、職員室の壁面に移したことだ。これは、箱の中の恩物よりは人の目につき易い廣間の正面のことだから、思い切つた模様がえであつたかも知れない。殊に四月二十一日のフレイベル誕生日などには、この額の前で祝いが行われたりしたのだから、外來の參觀者にも不思議に思われなくてもなかつたらう。彼は勿論フレイベルを尊敬して日々にその肖像を仰ぐ心において人後に落ちない。だから職員室に掲げたし、後ブランケンブルヒに行つた時は、その原版を買つて、わざ／＼持ち歸つて、その後ずつと長く主事室に掲げた。しかし、それを遊戯室に掲げるのは誰れのためか。子ども達をしてフレイベルを仰がせるのは必要もないことである。幼稚園はお宮ではない。お宮としても、その本尊は幼児である。その本尊を私達の前に、如何にもこゝの本尊さまのようにうやうやと飾るのは可笑しい。殊にフレイベルの決して喜ばないことであるに相違ない。フレイベルの幼稚園ではなくて幼児の幼稚園であることに、理屈も心もちも合はぬといふものでなからうか。そう考えて額をおろした園丁は不遜でも無禮でもなかつた筈である。従つて何んの神罰もあたらなかつた。もう一つの理由として、園丁は幼稚園の各室や廊下を、名畫や彫刻で藝術の世界にしたいと思つていた。充分の資料が得られないので、その幼稚園美化の夢は實現しなかつたが、その企畫と、あのしかめつらのフレイベルの肖像とは調和がとれないのである。

こうしたことは、別段大きな問題でもなし、改新とか革新とかいうようなことでもない。たゞ、幼稚園は純一に端

的に簡明に、幼児の幼稚園でなければならぬという、又、必ずそうしたいという、彼の豫ての考えの小さなあらわれに他ならない。そして、そういう考えを固く彼に抱かせ、その完全な實現の喜びを、この幼稚園を預る楽しみとさせたのは、いうまでもなく、子どもが與えてくれた至上の命令であつた。彼は幼稚園を子ども以外の誰れのものともしたくない。

2 アメリカの新幼稚園を見る

彼が新主事として何彼と考案しているうちに、文部省から教育學の在外研究員として歐米へ派遣されることになつた。彼がこの機會を利用して、新保育の活きた現況を視ることを怠らなかつたのは勿論である。殊にアメリカではデュエー流の新幼稚園が新興していた時だつたし、イギリスでは教育の新政策と共に保育學校が新興していた時だつたから、此の二つは彼の新保育の調査の主な目標として心がまえされた。ドイツのペスタロツナ・フレーベルハウス、スイスのデエネヴァの幼稚園、フランスやベルギーの宗教幼稚園、殊にイタリーのモンテッソリーの『子供の家』など世界の有名な保育機關を見落してはならぬと豫定していたが、特にねらいを向けた興味を中心は、米英のそれら『新保育』であつた。

今ではカリフォルニヤが新しく活潑であるらしいが、當時の『新保育』の本山は、何んといつてもコロンビア大學にあつた。デュエー教授の本據として新教育全般の大殿堂であつたが、保育としても、『フレイベル』批判の著者であるキルパトリックが大學で教育哲學を講じて居り、あの有名なミス・ヒルが大學幼稚園を主管して居り、『新保育』のために氣焔をあげていた。キルパトリックは米人としては小柄な人で、長い髪を無ぞうさにかきあげて、いつも低聲で物靜かに語る哲學者らしい人である。彼はその講義に參していたが、講義後よく大學に近いハドソン河沿いの散歩路を二人で歩きながら、いろ／＼と話して呉れた。ミス・ヒルは、長身肥大堂々たる風采の社交的人で、丁度夏の間だつたので、いつも大きな白い羽根團扇をゆつたりと動かしながら話した。初対面の日、彼が東京で試みている『新保育』の自己紹介をしたら、そうかといつてすぐ握手をしてくれ、彼が暇乞いに行つた時、その場で英國のマクミラン女史始め、歐州各地の知名な保育者に宛てた十餘通の紹介狀をタイプさせて、その場でサインして呉れるといつた、潑刺としたエナージエチック・レディである。

但し彼の視察の眼目は、これらの人の意見を聴くというよりは、その幼稚園が實際に如何に運営されて居るか、殊にその幼児達が、實際に、如何に活動しているかを、仔細に検討するにあつた。彼はミス・ヒルに教えられて、アメリカ各地の所謂『新保育』幼稚園をも多く訪ねたが、どこでも彼の目のつけどころは幼児生活の實際にあつた。『新保育』の新か、舊を破るだけの新型になり易いことを彼は知つていたからである。そして、彼は卒直に言えば、どこどこでも感服したとはいへない。主義は『新保育』でも、幼児の生活は別に變りない點も残つていた。時としては、『新保育』の型の中へ幼児がはめこまれていない田舎の幼稚園などに多かつた。そして、ここでは、先生よりも幼児の方が主になつて生活させられているのが通有の特色であつた。子どもが眞に自ら活きる力と道とをもつてゐることは、アメリカでも日本でも變りはないと思つた。著名な學者や教育者は、それ／＼の角度から、子どもを觀る觀方を教えてくれるが、實體を教えてくれるものは子どもそのものである。それにしてもコロンビア大學幼稚園の子らが（その中に日本の子が一人居た）活き／＼してゐた姿は今も目に殘る。彼は先生のプロジェクトよりも自分達のプロジェクトで遊んでいる風であつた。

3 アメリカの兒童遊園と兒童圖書館における幼兒

彼は幼稚園とか、保育所ばかりでなく、子どもの集るところを、どこまでも見てまわつたのであるが、その中で最もよく視たのは兒童遊園と兒童圖書館とであつた。その頃まだ新しかつた少年審判所もその一つであつたが、幼兒には關係がない。兒童遊園も兒童圖書館も、少年青年に對して大きな活動がされてゐるものであるが、ここでは屢々幼兒を見たりし、こういうところにこそ、新保育の一つの形が見られると思つたりした。

兒童遊園では、シカゴが一番盛であつたが、そのどれにも、幼兒の場といつたものがあつた。ネットを高く張つた青少年の場と少し離れて、芝生と砂場と浅いプールと、日よけの下の低いベンチとからなる、可愛らしい一劃で、多くはきれいな花壇が近くにある。ここでは幼児達が軽い服と帽子とで、自由に、全く自由に遊んでゐる。母親が附添つて來ていて、ベンチに腰をおろして編みものなどをしてゐる。兒童遊園にはプレーグランド・ディレクターという人が必ずいて、遊戯指導をしているのだが、幼兒の場では、母親が代る代るその役をしてゐる。役といつて、危険とい

うものは少しもないように施設されているから何もしないのが役目といった風である。

幼児たちはいろ／＼の年齢があるが、極く幼いのは別として互に、いつしよに遊ぶというのでもなく共に遊んでいる。アメリカの児童遊園は社會性の陶冶ということが、大切な主旨とされているのであるが、幼児の場でも、幼児の社會性らしい淡さと、しかしそのよるこびが充分味わられてゐる。

格別、手をとつて遊戯をさせるでもなく、揃つて歌をうたわせるでもなく、坐らせてお話を聽かせるでもなく、それこそ完全な自由生活である。自由生活を新保育の基礎原理とすれば、このまゝで立派な幼稚園である。たゞ幼稚園と違ふところは、こまかい材料による製作遊びがなく外遊び一本の點であるが、そのために製作稽古を課せられることが少しもないのは、いよ／＼新保育かも知れない。大きなまりとか、力のいる曳きおもちゃのたぐいが、幼児らの樂しむに任せてあるが、それが無くても面白いのであるから、とりあいは行われぬ。近所の母親達はおひるまゑとか、午後とかに、乳母車に乗せて來る。シカゴのような大都市生活では、日に一度は必ず戸外で日光に浴させるのが常識と習慣になつていて、その意味では、こゝは戸外幼稚園であり、ひなた幼稚園である。保育學說のむつかしい理屈のないのが、幼児らののび／＼している根本かしらとも思われたし、母といつしよなのが、幼児の生活から方法教育が分離しない所以なのかも知れさせられたりした。『先生』が居ないのである。

児童圖書館も、アメリカで誠によく發達している社會教育施設である。圖書館である以上、本を讀むところとして、少年以上のものであり、彼はよくそこへ出かけていつて、行届いたライブラリアンによつて行われている讀書指導の狀況を見、彼の宿の近くの或る小圖書館では、偶々その書棚にあつた、日本童話の英譯について、屢々話をさせられたりした。

ところで、彼の心を最も引いたのはニユー・ヨークの中央圖書館の児童館にあつた幼児の室である。そこには幼児向きの繪本が澤山備えてある。そうして、その室の主任は若い美しいストーリー・テラーで、いつもは幼児と共に繪本を見るが、時々幼児らの小群の（大人數ではない）ために、お話を聽かせる。彼は、その機會をのがさないようにしては、自ら可愛らしい幼児になつた。アメリカのストーリー・テラーは、極めて無技巧に話す風があるが、幼児のための場合それが殊になだらかである。その美しい人は無雜作に椅子に身を寄せて、靜かな聲でこゝ／＼と話をする。幼児たちは椅子にかけないで、小さな圓座風の敷物にあぐらをかいて、話手の前に輪をつくつてゐるが、時々一人二

人立つて、窓の方などへいくものがあつても、そのまゝに任せてある。或る時その人に、子ども達はよく聴いていますねといつたら、後ろの大きなマントルピースを指して、冬の日、こゝにあか／＼と火が燃えていると尙いゝのですかねと、きれいな歯を見せて笑つた。きれいな歯といえは、その人が子どもに話すとき、唇の動かし方の一々正確なものには感心した。

圖書館でのことだから、必ずしも定日定時間というのではない。幼稚園に來ているから、何曜日何時から、カリキュラムに従つて必ず行われるというのではない。集つている幼児らの様子を見て話が初められるのである。時には子どもの方から、せがまれることもあるようだが、話そのものというよりも、話手と聴手との間の親しみが主になつてゐる。彼はこゝでも、新保育の一部を見たような氣がした。幼児らは全く自由な氣分である。話す人も全く自由な氣分である。自由とは、形よりも氣分の自由が中心になつてゐる生活である。

児童遊園でも、児童圖書館でも、社會教育である。社會教育こそ、自由生活の中での教育である。幼稚園も保育所も社會教育ではないが、自由生活の中での教育という點では、こういう光景から教えられる點が多かつた。幼児らに教育されている氣分がないのは素より、おとなの方にも、教育をしていないのではないが、教育をしてゐることを意識してゐないのである。母親たちは、隣の室で、邪魔をしないように本を讀んでいた。

4 イギリスの新しい「保育學校」を見る

ロンピヤの教育大學では、大學の講義のあいまゝに幼稚園を見にいりびたることが出來た。イギリスでは、そういう都合のいゝ譯にはいかない。そこで、彼は大學のほかに、ロンドンの社會事業學校に出席して、児童保護の各方面と併せて保育事業について調べることにした。更に、社會的兒童問題の方面で、彼が最有益な指導を謝さなければならぬのは、ラツセルセーデ・フワウンデーションであつた。その圖書館の如き、我國にも是非ほしいものと思つた。

さて、新保育として、彼の是非見たかつたのは、マクミラン保育學校である。彼はミス・ヒルの紹介狀を以てマクミラン女史を訪ね、幾度となくその實際を見せて貰つた。場所はロンドンも場末と思われぬ。世界に名高いグリニツチ天文臺の後方（市の中央から行つて）に當つていたと記憶する。保育學校は美しい前庭をもつ瀟灑な平屋建てで、

幾つかの幼児室の他に完備した調理室があり、流石に舊い普通の託児所とはちがつたところがある。イギリスの託児所はどこまでも乳児本位で、乳児保育の設備が整い、保母さんも白衣の乳児省護婦が専ら育児に當つてゐるのであるが、保育學校には乳児と幼児が居り、育児と共に教育的空氣が濃い。

一體保育學校はマクミラン女史らの特志社會施設としては前からあつたが、一九一八年の教育制度の改革の時に學齡前の教育機關として公認せられたのである。舊式の幼児學校に對するいろいろの教育的批難や、舊い幼児保育所に對する教育的批評に基き、社會的幼児教育の新しい形式として主として社會黨の教育政策から主張されたものである。マクミラン女史も同黨の著名な闘士である。その風格にも、幼児らに接する時の柔和な溫容の一面に、全英國の『働く母』の子らの心身を護ろうとする確固たる意氣が溢れてゐた。彼が保育學校と幼稚園との別について問うたの對して、差別なんかは考えない。われらはたゞ社會の必要に對して働くといつた意味の言葉を以て答へられた。施設の理論からではなく、どこまでも社會の必要に應じて適切に施設せられるというイギリス特有の現實觀が、こゝにも徹底してゐるのが感ぜられた。保育學校は後アメリカに渡つて種々の進展が行われたが、彼が見た創始當時のイギリスの保育學校は、社會の必要のあるところに應じてつくられてゐるといふハッキリした趣があつた。彼はマクミラン女史の著書を読みながら、女史の説明をきながら、この保育學校の見學に教日を用いたのであるが、今もまだ存してゐるのならば、あのロバート・オーエンのニューラルクの保育施設を見に行かすには居ないだろうと自ら思つて見える。イギリス人は觀念に構わない國民である。當時モンテツソリーの自由論がイギリスにも取りはやされ、(彼もロンドン滯留中のモンテツソリー女史の講習を多くのイギリスの先生達と共に聞いた)保育學校でも、屢々その名が出たが、先生達は『自由』を以て『しつけ』には置きかえていないようだつた。マクミラン女史も、保育學校において、特にデシプリンが必要だということを屢々語つた。彼がオーエンの保育を思ひだしたのも、それが與つてゐた。保育學校は子どもをたゞ保護すればいゝ處ではなく、デシプリンの缺けざるを得ない家庭の子らに、しつかりデシプリンを興えるところだというのが、少くもマクミラン女史の強い意見として、彼をうなづかせた。

5 イタリヤのモンテツソリーの「子供の家」を見る

當時の幼児教育界の新しい話題は、なんといつてもモンテツソリー主義であつた。彼は或る新聞(萬朝報か)でそ

の短い紹介で初めてその主義を知つて、非常に新しい刺激を感じたのであつた。アメリカの教育雑誌で、その稍くわしいことを讀み、更に興味を感じさせられたのであつた。その著書（英譯）を急いで讀んだのは勿論であつたし、その抄録を『幼児の教育』に載せたりもした。しかし、その自由教育には、必ずしもそう深いものを感じなかつたし、その感覺教育論には、どことなき疑念をも感じていた。アメリカの博覽會にその教具の陳列のほかに、硝子張りの部屋の中で、モンテツソリー方法に訓練せられた幼児たちの實際作業が展覧されて評判だといふ記事を讀んで、彼一流の小さい反感のようなものを感じさせられた。しかし、新しいものは新しいものとして研究しなければならぬことは彼の研究心の命令するところであつた。

アメリカの幼稚園を見て廻つてゐる間、モンテツソリーはどこでも新しい名であつた。イギリスへ渡つてからも、その新しい名を多く耳にした。丁度その時女史がロンドンに來て講習會が開かれていたので、その講演を聞いたことは勿論であつた。インテレクチュアル・リーダーそのものといつた印象を快く受けたし、その講演もはき／＼してゐて明朗であつた。彼がイタリーへ行つた時その『子供の家』を訪ねたのは勿論である。ローマの場末といつた風のところにあつて、女史がそうした地區の幼児達に對してもつてゐる關心と教育とは直ぐ感じたが、所謂モンテツソリー法の實際を、その本家でゆつくりでみたいといふ彼の希望は充されなかつた。女史が外國への講演旅行中で留守であつた爲かも知れないが、國外における盛名の活潑さは、そこでは感じさせられなかつた。彼のイタリー旅行中の興味が宗教藝術の方に傾きまつていたのも、その理由だつたかも知れない。

そして、彼の初めからの一抹の不安は、その教育論が唱え出された舞臺としてのイタリーの社會と新教育の生れる母胎としてのアメリカやイギリスの社會との相違を見るに及んで、自ら説明せられるものを感じたのであつた。

『外國で見て來た新保育』が『彼が子供から學んだ新保育』と、如何に結びついたか、後の日の話である。但し、ここで『新保育』と言つてゐるのは、自他ともに三十年も古い昔のことである。

幼児の健康保育(一)

お茶の水大學助教授
愛育研究所員 平井信義

序として

子供の幸福を願うものにとつて、こゝろの發達と同様に、からだが丈夫でめきめきと大きくなつてゆくこと程、うれしいことはありません。

毎日毎日幼稚園に迎え、幼稚園から送り出す子供たちの中に、一人でも姿の見えない子供があると、實に淋しいことでもありますし、月々の體重をはかつてみると一向太らない子供には、本當に心配なものです。保母さんのいうことをきかない子、なかなか保育に入つてこない子、——之らの子供に頭を悩ます以上に、保母のこゝろを重くするものは、いろいろな體の故障でありましょう。

母親にとつても子供の病氣ほど厭なものはありません。深夜にけいれんを起して醫者が来るまでの不安さ、氷をかく音やれ薬やれ注射と子供を責める氣持、漸く元氣になつたと一息ついていと多額な勘定書、——日頃がみがみ叱つてい

る母親でも、病氣さえしてくれなければ、どんなきかん坊でも暴れん坊でもよいと思うことでしよう。

病氣している子供自身だつて、本當に病氣は苦手です。定つた時間に玄關でベルの音がします。先生が見えたのです。逃げかくれも出来ません。泣いても騒いでもおさえつけられずしてしまいます。痛い注射、不愉快な洗腸、先生の歸つたあとに残つた消毒薬の臭い、苦い薬も鼻をつまんでのまなければならぬ、お母さんがやさしく看護して下さるけれど、然し隣の次郎君と木登りしたり、溝のお玉杓子をつかまえていた方が、どんなに愉快であるか知れない……。

子供には病氣をさせたくないものであります。

幼稚園に子供をやる様になつてから、非常に丈夫になつたという感謝をしばしば母親から受けます。入園當初は手足もか細く、遊戯室の隅つこでしよんぼりしていた子供も、大きな子供たちから喧嘩を吹きかけられ泣かされたりしている中に、いつの間にか喧嘩を賣つたり弱いものをいぢめたり、ボ

スの様にさえなつて、からだ付きもがつしりし、眼は輝いて、ほんとうに頼母しくなるものであります。之は日本の子供に共通なふしだらであつた家庭生活に、幼稚園が一つの規律を與えたからであります。

幼稚園へ通い始めると、少くとも歸る途は間喰いが出来ません。ポケットにあめなどがしのばせてあつても、他の子がしていないことをするのは恥しいことです。朝もきちんとおきて顔を洗わないと、先生に淑ちゃんは今日も顔を洗つて来ないのね、と、ちゃんと知れてしまいます。夜更しも出来ません、鼻もたらしていられません。「おうちでの清潔」が出来ないと、先生からいたゞいた紙に○をつけることが出来なからです。本當に幼稚園はありがたいところです。幼稚園の生活が中心になつて、兎角ふしだらな家庭生活から救われたのであります。

然しながら、幼稚園にあげる様になつてから、病氣を貰つて来て困る、という非難をきかされることがあるのは、まことに悲しいことです。やれ麻疹をうつされた、次は水ぼうそうになつた、顔にははたけが出来はじめた、出来ものが出来て困る、毛虱まで背負込んだ……。それ御覽なさい、だから家の子供は幼稚園に出しませんのよ、と隣の奥さんにいばられてしまう。隣の子の様に引込思案で内辯度で、顔も青く、日蔭の花みたくても困るけれど、こう病氣ばかりさねたもたまつたものでない、——そう母親たちは思うのです。

こうした非難について、幼稚園の側ではいろいろなことを

考えなくてはなりません。然し正直に言えば、恥しいことなのです。何としても病氣の媒介所であつては困ります。お母さん達もつと注意して、病氣の子供は出してくれないといふのだけれど、——之が保母さんの苦情には違ひありませんが、病氣らしい子供がやつて来たたら、早く見付けて適當な方法を講ずること、その様な子供を幼稚園に寄越さない様に母親を指導すること、——これらも保母さんの大切なつとめではないでしょうか。子供のこゝろの問題について、例へば内氣な子供にはおうちでこの様に扱つてごらんなさい、と指導する様に、具合の悪い子供についての見方、かんたんな處置を指導すること位は、保母さんの權利として主張したいものであります。

ところが近頃、いくたびか私は幼稚園に經驗の厚い方々とお話をする機会を得ましたが、その方々の中に、子供のからだのことは醫者とか保健婦にまかせておけ、保母はからだの點まではとても力が及ぶものではない、それでなくとも忙しいのだから、という御意見をもつている方があるのに氣付いたのです。

前々から、保母さん方とお話をしながら、こうした點で非常に殘念な氣持を持つていましたし、保母さんを養成する教育にからだの方面がおるそかであるのを不満に思つていました。この缺陷を補うものとして保健所から醫者や保健婦が見廻つてくれる制度もよいでしょう。囑託醫の制度を確立するのもよいでしょう。然し現在の急に合いません。

假りにこうした制度が確立しても、子供たちの生活の半分をあげかつているものは保母さんであります。而も母親以上に子供の尊敬を集めている保母さんであり、母親にとつても子供の生活について頼りとしてゐる保母さんなのです。もう一步保母さんが前進して、心身兩面（實は背中合せ）について子供の生活の中心になつていたゞきたい、というのが私の念願なのであります。醫者が囑託になつていても、刻々子供と生活を共にして、微に入り細を穿つて子供の生活を知つてゐるものが保母さんでありますから、第一に保母さんの力によるのでなくては、子供たちの健康も恐らく護られないでしょう。

たゞ問題は、どの程度身體方面の知識を持ち、どの程度にそれを應用したらよいか、ということでもあります。それに關連して教育機關又は教育制度の問題が起きて來ます。と同時に保母さん方を支持する囑託醫の在り方、或は醫療機關の在り方をも考えなくてはなりません。これらが一致協力して、明日の時代の新しい保母さんを作ることでありましょう。この問題については、講座の終りに述べる豫定で居ります。

いよいよ本論にうつるのであります。私が日頃健康保育に従いながら、或いは非常に成功したこと、或いはとんだ失敗をし、その結果いろいろの空想を描いて自らを慰めたことなどを思いつくまゝに書きなぐつてゆかうと思ひます。出來るだけ系統立てゝはみましたが、拙い筆の赴くまゝでありますから、どんな脱線をするかわかりません。

どの子どもどの子ども、元氣のよい顔で、先生おはようと、幼稚園にかけ入つて來る姿を見ながら、又一日の保育を終えて無事に幼稚園の門から子供を送り出しながら、たゞとゞ自分の手に委ねられてゐる子供たち、而も明日を背負つて立つ子供たち、——こう思うと、何か感傷的な氣持にもなるのですが又身ぶるいの出る様な緊張をも感じます。

目次

第一部

- (一) 保育案。
- (二) 保母の健康。
- (三) 健康保育のための施設。
- (四) 入園當初の注意。
- (五) 調査する事項。
- (六) 視診と病氣の早期發見。
- (七) 基本的な衛生の躰け。
- (八) 豫防注射とその意義。
- (九) 健康保育一日の實際。
- (十) いろいろな検査、測定。
- (十一) 母の會と母の講座。
- (十二) 家庭訪問。
- (十三) 遠足と運動會。
- (十四) 健康教育の方法（お話、紙芝居）
- (十五) 一ヶ月期及び一年の整理。

第二部

- (一) 幼児の發育。
- (二) 養護。
- (三) 榮養。
- (四) 病氣。
- (五) 看護。
- (六) 體質。
- (七) くせ。
- (八) こころの衛生。
- (九) 公衆衛生。
- (十) 健康の意義。

第三部

(一) 囑託醫。 (二) 保健所及び醫療制度。 (三) 保母の育児教育。

第一部

一、保育案

四月に年度が變り、幼稚園のはじまる前のいく日かを、新しい園児たちの顔を思い浮べながら、保母さん方は保育案の作製にあれこれ智恵をしぼられることとせう。遊戯、お繪かき製作など、どれから始めようか、これにしようか、と、づい分樂しいことであり、希望の多いことであると思ひます。

その際に決して忘れてならないのは、健康保育のプランであります。差當つていろいろな衛生上の躰けをしなくてはならぬでしょう。目方や身長も測らなくてはならぬでしょう。然し健康保育のプランといつても、いわゆる保育のプランと別個にあるものでも、併行しているものでもありません。保育のプランがそのまゝ健康保育のプランになる様に考へて欲しいということとです。

健康保育にとつて一番大切な材料は、太陽と新鮮な空氣であります。太陽を材料だなどというところも叱られるかも知れませんが、太陽は子供の健康のためには材料といわれようが、何と云われようが潔く身を投げ出して下さつて居るのであります。

の恩恵を受け取することを忘れたときには、子供たちは青白いもやしとなつてしまひます。

一年を通じて日光に當たる機會の少ないのは、梅雨期と冬期であります。冬期は雪國を除いては、求めれば日光に當たるものが出來ますが、梅雨期には雲低く垂れこめて、なかなかその機會がありません。ですから雨の多い季節には一寸した霽れ間をみて、その機を逃さず子供を外に連れ出すことが大切です。

プランのない保育は困りますが、プランに忠實すぎて、臨機應變のない保育でも困ることは、健康保育に當つても同様です。ですから雨の多い季節には、太陽を待ち焦れる氣持をお話や歌で子供たちに傳えておき、雲間から太陽が顔を出したら、パツと外に飛びだしてゆきましょう。日頃尊敬して居る保母さんで、その「バット」が實に上手な方があります。保母さんに従つて、子供らが喜んで屋外に飛び出してゆく様子は、何といふまじようか、私には表現出來ません。

冬期は兎角寒いために、家の中に引込みがちになります。保母さん自身が悲いので、ストーブに炭を入れることばかり氣付かつて、外に出ることを忘れては困ります。子供は風の子ですから、寒くても實に平氣であります。もし寒がつて背中を丸くしている様な子供がいたら注意しなければなりません。冬でも風のない日の午前ば、紫外線も多く、暖かです。走ると汗ばむ位であります。

汗といえは、夏は暑すぎるから、顔が焼けて黒くなるから

といつて外に出たがらない保母さんはありませんか。どうも太陽に當ると頭痛がする、という方もありませんか。保母さんが外に出ないと、どうしても外に出たがらない子供のグループがあります。そんな子供たちのために、是非進んで外に出て欲しいものです。皆の子供が太陽の輝く下で遊んでいる聲をききながら、がらんとした室で子供たちが残していつた臭いをかいでいると、本當に幸福な氣持に打たれます。

保育案とはちがいますが、家庭との連絡のために、傳染病豫防のために、幼稚園が始る前に一回、母の講座を持ちたいと思います。それには園長のお話がよいでしょう。或いは保母さんが出來ればそれに越したことはありません。この計畫は是非立てゝ下さい。入園式の日、おたふく風、水ぼうそう、百日咳の子が啼着を着てつれて來られることも稀ではありませんから。

以上、保育のプランを立てるときには健康保育のことも必ず頭に入れる様に、とお話したのですが、それによつて保母さん方には、あそびとか遊戯の形がいろいろちがつて來ると思います。それらをいかに用いてゆくかは皆さんの技術であり才能であります。よい保育を見せていたゞきたいものです。

二、保母の健康

よい保育をするためには、保母さんの健康が土臺であります。保母さんに、食慾がない、おなかとしくしくしたい、頭が重い、背中がいたい、膝の關節が具合が悪い、などなど故

障（之は保母さん方から私が訴えられたからだけの故障の主なものです）があると、保育は全く精氣のないものになつてしまいます。倉橋先生がこゝろに故障の多いものは保母として充分の働が出来ないという様な意味を誓いていられたことを記憶していますが、からだについても本當にさう感じます。

ところが保母さんの仕事は重労働に近いものです。子供たちと一緒に立つたり坐つたり走つたりしなければならぬのですし、それに子供を預つているという心労は大變なものでしょう。私も一日保母さんに代つて一人で保育を試みてことがありますが、本當疲れて二度とする勇氣が出ない位でした。勿論慣れゝばづつと疲れが少なくなるのでしょうが……。

従つて新しく保母さんになられた方は、毎月の生理にも故障が多くなる様です。目下そうした保母の健康について調査していただきますから御助力いたゞきたいのですが、しばしばその様な訴えがあることは、本當にお氣の毒に思います。生理休暇ということがよそではさかんにいわれていますが、子供たちのことを思う保母さん方は、ついつい無理を押しても幼稚園に出来られる様です。殊に手の足りない幼稚園では、休むことが出来ない、という現状でしょう。

この問題をどうしたらよいかは、いろいろな觀點から考えられねばなりません。第一に申したいことは、この様な實際の保育に精氣のないことです。（四三頁下段）

第二回東海保育大會

去五月二十六、二十七日の兩日、標題の大會が松本市内・信州大學文理學部講堂で行はれた。來り會するもの千を數へ、この地區の保育に對する理解の深さと熾烈な情熱をまざまざと感じさせるものがあつた。

第一日 午前十時開會、自澤準備委員長の挨拶、經過報告ありて後、鷺森東海保育連合會長の式辭、軍政部司令官、林長野縣知事、松島長野縣教育委員長、筒井松本市長、内山全保連事務局長の各祝辭、祝電披露を終つて、卯尾長野縣保連副會長の挨拶にて一應式を閉じ直ちに總會に入つた。

總會順序は(1)議長、副議長を決定し(鷺森氏議長就任)
(2)鈴木保連常任理事の會務報告ありて(3)議案の上程がなされた。

全國大會地區代表者選定の件

全國大會提出の協議題決定の件

次回開催地決定の件(山梨縣と決定)

各縣提出の協議題は左の通り

母の會PTAの運営方法如何(山梨縣)

保育カリキュラムについて(愛知縣)

保育理論と保育の實際について(岐阜縣)

智能検査を實施する場合その種類方法効果について各縣の實情及び意見を承りたい(静岡縣)

園児の生長につき一年間の身體的發達と精神的發達との關連について(長野縣)

以上を以て、第一日の議事ををはり、三時よりリクリエーション。

第二日は午前九時より研究發表が行はれたが、内容左の如し

人形芝居の實際の取扱について

愛知縣名古屋市立第三幼稚園 林 壽々恵

幼児保育の實際について

長野縣篠ノ井高校保育園 北 島 功子

音楽と動きのリズムについて

静岡縣伊東市野間自由幼稚園 菊池ゆき子

幼児の心理研究について

岐阜縣岐阜市長良保育園 渡 邊 よね

幼稚園における智能検査について

山梨縣山梨大學附屬幼稚園 深 澤 通 惠

かくて第二の日程を盛會裡にをへ、第三日二十八日(日)は上高地の見學が行れた。

保育施設給食講習會開かる

厚生省では「保育施設給食の指導的人物を養成し、この事業の充實をはからんとする」趣旨の下に、去五月二十二日より東京、福島、愛知、廣島の各都府縣において標題の講習會を開催してゐるが、これは六月二十五日まで續行される豫定である。

一、開催地、開催場所、開催日

東京（都立明石町保育園において）五月二二、二三、二四、二五、二六の各日

愛知（名古屋市保育専門學園において）六月六、七、八、九、一〇の各日

廣島（廣島縣佐伯郡嚴島町嚴島小學校において）六月一、二、三、一四、一五の各日

福島（福島縣信夫郡飯坂町飯坂高等學校において）六月二〇、二一、二二、二三、二四、二五の各日

二、講師

(イ) 事務關係——吉見靜江（厚生省兒童局保育課長） 小林彌八（同課事務官）

(ロ) 調理關係——武藤靜子（愛育研究所營養主任）

三、受講者資格

(イ) 府縣保育施設給食主管課における給食事務擔當吏員
(ロ) 府縣保育施設給食技術指導員 (ハ) ユニセフ給食實

施設保育所給食調理擔當職員

四、實施方法

(イ) ユニセフ給食實施都府縣における技術指導員及び東京都、神奈川縣、埼玉縣におけるユニセフ給食實施々設給食調理擔當者に對する講習は東京都で (ロ) 東京都、神奈川縣、埼玉縣を除く各府縣における給食事務擔當者技術指導員及びユニセフ給食實施々設の給食調理擔當者に對する講習は福島、愛知、青森、廣島の各縣で——

官廳ハム示連絡事項

モデル保育所設定標準(案)成る

保育所の在り方については、法的根據（兒童福祉法及兒童福祉施設最低基準）により大體明確になつてゐるわけであるが、實際は必ずしもその通りに行つてゐないで、保護者の勞働又は疾病により保育に缺ける兒童を保育するという保育所本來の目的から離脱したようなものも見受けられるので、この程厚生省兒童局では去五月二十三、二十四日の兩日、同省で開催された全國兒童課長會議の席上に左の様な設定標準案を提出した。

モデル保育所設定標準（案）

- 一、設置場所は児童福祉法第二十四條の措置該當児童の最も多い地域であること。
- 二、保育する児童は乳児、幼児、學童を通じて眞に措置の必要度の高い児童だけを入所させるべきであるが設備及び職員に餘裕のある場合に限りその他の児童を入所させているものであること。
- 三、職員は何れも人格的にすぐれ児童福祉に對する熱意があつて乳幼児保育の技術に秀いでた人が揃つてゐること。
- 四、保育時間は八時間を原則とするものであるが特に必要な家庭の児童についてはその事情を考慮して必要な時間中保育してゐること。
- 五、その他の運営についても家庭の事情を考慮してその児童の必要なものを補つてゐること。
- 六、保育方法は児童の個性とその自發活動を重んじ個別的及び集團的に適切な指導をしてゐること。
- 七、保育の内容は年齢に應じ身心の發達に即して行われてゐること。
- 八、衛生營養等に留意して正しい生活の基礎訓練を與へ、社會人としての人格の育成に留意されてゐること。
- 九、家庭との連絡が保育されている児童の問題を中心にして緊密に行われ、その指導が充分に出來てゐること。
- 十、施設所在地の人々との連絡が充分で地域活動が行われてゐること。

十一、その他建物、設備職員の構成とその待遇、保育の内容等が最低基準に合致してゐること。

（四〇頁より）

逆に保育をみていて、保母さんに精氣がないと、何かからだに故障があるのではないかと私には心配でなりません。

醫者としては、子供たちの健康管理をする前に、保母さんの健康管理を行はなくてはならない、と思ひます。保母さん自身も、いつもいつも自身の體に注意して欲しい、子供たちと一緒に檢便もしてもらう、月々體重も測つてみる、と積極的に關心を持つていたゞきたいものです。太つてゐるのがわかるから厭だ、などといつて體重をはからない保母さんはありませんか。疲れたというから、ビタミンBを注射しなさいという、痛いから厭だという方はありませんか。

からだには充分に注意し、子供たちのために故障のないものとしておきましょう。一端故障が生じたときは、その故障を取除くことに専念しましょう。その時によい助言者となるこの出來る醫者が、園醫であつて欲しいと願ひます。（つづく）

會から

○先づ第一に九州大會の盛會を祈らなければなりません。毎年七月は全國保育者の總意を一堂にあわせて日本の保育こゝにありといった、大に氣勢をあげる月であります。九州の方々の準備の骨折れも、全國から集られる多くの方々の勞も容易ではありませんが、それは皆七月末において充分に花を開き實を結ぶものです。

ことになつています。山下氏の幼児心理に多く連載講話として、毎號を御期待御精讀下さい。
○いつも發行のおくれる本誌も、編集係の努力によつて、今月からだん／＼その期日を早くしてゆきます。早くするといつて、當然の日に成るだけのことですが、今までのおわびを更めて申し上げます。

『幼児の教育』編集

○津守氏の論文は、この専門家が愛育會特殊幼稚園における實際の體驗をもととして、その所懐を世に問うものです。新たにとつていゝほど目下問題になつている特殊幼児の保育はすべての保育界に大に考えていたただかねばならぬことです。

○松原氏の譯によるアメリカ童話は、われらの知りたい今日のアメリカ童話を紹介して下さるもので、童話研究上の貴重な資料です。いろ／＼の方面から新らしいものを續々譯していただくことになつています。

○宮本氏の文は、保育要領中の新しい事項になつてゐる『見學』について、その實際例の一つとして書かれています。幼稚園のエクスカージョンの興味こそ深いものです。

○平井氏の講話は、大切な健康保育について氏の理論と經驗から、くわしく書いて下さる

編集主任 倉橋惣三
協力委員 牛島義友
及川ふみ
齊藤文雄
多田鐵雄
波多野完治
山下俊郎
(五十音順)

編集委員 西山浪太郎

日本幼稚園協會

幼児の教育 第二十九卷 第六號

定價 金拾圓

昭和二十五年六月十五日印刷
昭和二十五年六月二十日發行

東京都中野區千光前町一〇

編輯兼 倉橋惣三
發行者

東京都文京區柳町二二番地

印刷者 杉山龜吉

東京都文京區柳町二二番地

印刷所 第一印刷株式會社

東京都文京區大塚町三十五

お茶の水女子大學附屬幼稚園内

發行所 日本幼稚園協會

東京都千代田區神田保町二ノ四

發賣所 株式會社 フレーベル館

電話九段(33)三九七一番

振替 東京一九六四〇番

○本誌御購讀について注文申込その他は凡べて發賣所フレイベル館宛に願います

観 察 繪 本

キンダーブック

KINDER-BOOK

キンダーブックのフレーベル、フレーベルのキンダーブック——この繪本は餘りにも有名です。發刊以來既に通卷 250 號を發行し、全國の各幼稚園保育所をはじめ、健全な家庭から、學齡前の幼兒に無條件に與へられる代表的な繪本として積々の好評を載いてをります。先頃連合軍總司令部CIEより發表ありましたものゝ中にも、アメリカにおいても類誌のない獨自のものであるとの御言葉がありました。企畫、編集、用紙、着色、製本凡ゆる面に不斷の精進をつづけ、號は號を追つて益々良いものを世に送りたいと努力してをります。次代の日本を背負う愛兒のためのこよなき心の糧であります。

A4 判・16 頁・月 1 回發行・定價 40 圓・送料 3 圓

新しい社會科繪本發行！

キンダーブック特集號！

汽車繪本の決定版！

たのしい汽車

B5 判・三二頁 (五色刷背クロス) 七〇圓
 解説 (付) 一〇二圓

全國の先生方、お母様方の要望に答えて一流の作家、畫家と編集者が眞心をこめて三十萬の愛讀者の子供達に贈る社會科繪本の第一集です。

先生もお母様も子供時代に戻つてお子様選と一緒にお楽しみ「汽車」の旅をして下さい。夢と情操と汽車の知識をかねてなえた幼稚園、保育所、小学校、低學年の汽車の繪本の絶対他誌に負けない自信をもつておすすめてくれるものではない、何卒キンダーブックの御愛讀を願います。

童謡 西條八十 近藤 東
 繪 吉澤廉三郎 安井小彌太
 武井武雄 木俣 武

黒崎義介 上田三郎
 澤井一三郎 松井行正

發行所

東京都千代田區神田
 神保町二丁目四番地

株式會社

フレーベル館

振替口座東京
 一九六四〇番